

船酔い地獄、染みる優しさ【水高記者DIARY】1月21日

地域 島根 石見

2024/2/2 (最終更新: 2024/2/2)

島根県水産練習船「神海丸」に乗り込み、ハワイ沖で実習に取り組む浜田水産高(同県浜田市)海洋技術科2年生、関蒼太郎さん(17)=広島市中区出身=が船上の日々を記します。



船上での朝のラジオ体操



1月21日 北緯28度23分東経143度10分

浜田を出港して3日目です。日本の皆さまいかがお過ごしでしょうか。現在神海丸は、小笠原諸島の父島北東約95カイリ(175キロ)にいます。亜熱帯に差しかかり、気温は21度と初夏並みの暖かさです。

おととい関門海峡を通過しました。太平洋へとこぎ出した私たちを待ち受けていたのは冬の低気圧でした。西高東低、理科で習った知識を身をもって実感することに。瞬間に船内はゾンビのような顔色の生徒であふれかえりました。まさしく地獄絵図。先生の「こんなのはまだなぎのうちだぞ」という言葉に一同血の気が引きました。

1日たつと、ある程度ましになったものの、授業で教科書の文字を見ていると酔い、そのまま突っ伏す生徒が続出。結局授業時間を大幅に繰り上げる事態になりました。

しかし、クラスに何人か全く酔わない人がおり、酔って動けない人の食事当番や掃除を手伝ってくれました。

印象的だったのは、お調子者で知られる生徒がダウンした生徒の穴を埋めるよう自発的に動いていたこと。私も彼には何度か助けられました。そんな心優しい人たちの活躍もあり、20日の夜は無事に更けていきました。

21日。太平洋も3日目となると、徐々に体も慣れてきて、午後は本が読めるくらいまで回復しました。皆で船上に出る機会があり、どこまでも広がる水平線を見ながら潮風を浴びていると、泥のようだった皆の顔色に生気が戻ってきました。授業も予定通り行われ、新しい日常へ向けた準備が進みつつあります。

あすからはうねりも落ち着き、文字通り「太平の海」になるそうです。そして今夜午後12時、時差の修正のため時計が30分進みます。睡眠時間が30分減るということ。今日は早く寝る必要があります。（浜田水産高海洋技術科2年・関蒼太郎）

<関連記事>

船酔い地獄、染みる優しさ【水高記者DIARY】1月21日

実りある航海へ、いざ出港【水高記者DIARY】1月18日

浜田水産高生がハワイへ出港 2カ月かけて海洋調査やマグロはえ縄漁...